



山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



▲あいさつする中込裕理事長

第五二回 会館の設備事業拡大へ

事業報告 事業計画
決算 予算 算
など全議案承認可決

第五二回通常総会は、二〇二四年五月三〇日（木）流通会館で開かれ、組合員五八人（委任状出席含む）が出席。二〇二三年度の事業報告、収支

決算、二〇二四年度事業計画、収支予算案などの提出議案は全て承認、可決された。
二〇二三年度の事業は、第一に新たな団地の再整

備として、令和五年度卸商業団地機能向上支援事業において、組合会館既存敷地内に新組合会館を建設する第二案の検討や、建設予定地のボーリング調査および物価上昇に伴う建設費高騰を加味した建設工事費・解体費の再算出、収支予想を行った。

第二に収益力の強化と財政基盤の充実として新型コロナウイルス感染症が落ちついていく中、会館利用収入はコロナ前とほぼ同額の金額まで回復し、さらに脱退組合員の土地・建物を購入したことにより、安定した家賃収入の増加を見込んでいると示された。

第三に組合組織の活性化推進を目指して、第六回総合防災訓練やAED基礎講習会、定期健康診断を実施し、組合員間の連携を深めたことが報告された。

第四に組合諸施設の整備・補修として、老朽化による破損・故障が増加し修繕費用が大幅に増加している状況であるため、必要最低限の工事に留め、今後もランニングコストを考慮し

たうえで改修工事を行う予定とした。

二〇二四年度事業計画は、二〇二三年で実施した行事を中心に、よりよい組合に発展するための施策を進める。重点事業として、課題一「新たな団地再整備事業の充実」のため、昨今の物価上昇に伴う建設費の高騰、働き方改革による労務費の上昇が激しいことから、数年かけて建設計画の変更（コンパクト化）による建設費減額、竣工予定スケジュール等の再検討を行うこと、課題二「組合共同事業の充実と組合組織活性化」のために工夫・検討し、収益力を高めることを通じて組合員の期待にこたえる内容を実現すること、課題三「企業活動における県内最適地としての価値を高める」ためDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進すること、課題四「組合諸施設及び組合員施設の整備・補修」のため、老朽化に伴う修繕の実施や、組合員の諸施設の整備・修繕の相談を受けることとし、総会は閉会した。

双方の価値をしっかりと認識

理事 役員 会津若松団地、福島原発を視察

当組合の理事・役員・事務局（13人）は、2024年3月7日（木）～8日（金）の日程で1日目に福島県会津若松市の会津若松卸商団地協同組合、2日目に東京電力福島第一原子力発電所を視察・研修した。

会津若松卸商団地協同組合では、山本真一理事長と二瓶靖事務局長にご対応いただき、話を伺った。

同組合は卸売業、小売業、サービス業、建設業が集積した複合集積団地として1992年に創立、2022年に創立30周年を迎えた。

団地の規模は総面積約36万㎡であり、会津若松インターチェンジの西側に隣接し、太平洋と日本海を結ぶ磐越自動車道、国道49号と国道121号、地域高規格道路会津縦貫北道路のクロスポイントに位置している。

共同事業として、組合会館事業、共同レストラン事業、共同給油事業、共同駐車場事業、不動産管理事業、共同警備事業、ソフト事業として教育情報賦課金事業、共同受注事業、共同販売事業、共同資源リサイクル事業、業務代行事業など幅広い活動を行っている。また、卸商業団地機能向上支援事業についても話を伺うことができ、有意義な視察となった。

2日目は山梨県中小企業団体中央会にご協力いただき、東京電力福島第一原子力発電所の視察を行った。原子炉1号機から4号機を80m離れたデッキから見学し、廃炉に向けた作業の現状と今後について説明を受け、かつての災害が今も多くの人々に影響を与え続けていることを実感した東京電力福島第一原子力発電所の視察は理事・役員にとって非常に価値のある時間となった。



▲会津若松団地などを視察した一行

人手不足対策などを学ぶ

2月定例懇談会 3人の講師の講演聴く

定例懇談会が2024年2月29日（木）に流通会館で開かれ、組合員・準組合員44人が参加した。最初に、当組合顧問社会保険労務士の雨宮隆浩氏による「最近の労働関係法改正の気になるポイント」続いて、(株)テクノスマイル 東日本グローバル人材事業部 部長 永石彰氏による「人手不足解消 様々な海外人材活用方法について」と、今澤アソシエイツ(株) 代表取締役 今澤俊和氏による「山梨リファラル採用のススメ～人手不足時代だから人から選ばれ、人が集まる会社にしませんか～」の3名による



▲講演を聴く参加者たち

講演をお願いした。

雨宮氏からは2024年4月から、労働条件明示の制度改正のポイントについて説明をいただいた。全ての労働者に対する明示事項として、就業場所・業務の変更の範囲の明示が必要になるほか、有期契約労働者に対する明示事項として、更新上限の明示、無期転換申込機会の明示などが求められるとされた。

続いて永石氏からは(株)テクノスマイルのグローバル人材事業について説明をいただいた。同社では、優良海外人材の紹介・受入支援事業を展開しており、アジア各国の海外国籍の人材派遣を行っている。その事業の中で、海外人材活用による課題解決事例を挙げ、海外人材を受け入れる重要性について解説された。

最後に今澤氏からは人手不足時代の人財戦略について説明をいただいた。働きがい、幸福度を感じる社員の多い企業には人が集まり、社内外に自社のファンが増える。それに伴い自社の社員から友人や知人などを紹介してもらうリファラル採用を活用することにより、新卒・第二新卒・中途採用のデメリットを軽減できるとし、人材獲得競争のこの時代に活用いただきたいとして講演を終えた。

新会長に丸茂正樹氏選出

LoMAの会 新役員体制に移行

青年部『LoMAの会』は、2024年度の新会長に丸茂正樹氏（㈱マルモ代表取締役社長）、また、副会長には石澤健氏（㈱イシザワ代表取締役社長）、大木賢太郎氏（㈱オオキ代表取締役社長）、網倉一修氏（CIH㈱副社長）の3人がそれぞれ就任した。

この新役員人事は、4月19日に行われたLoMAの会の

総会において決定された。

LoMAの会は平成7年に発足。以来、毎月の例会やパワーディナー（講師例会）の他、視察や組合の社員交流会に運営委員として参加するなど、組合及び組合員の発展に大きく寄与している。

「スマート農業」で研修

LoMAの会 井上講師の講演聴く

青年部『LoMAの会』は2023年10月11日（水）にパワーディナーを開き、講師として株式会社アドヴォネクスト代表取締役 井上雅博氏をお招きした。

井上氏は、パワーディナーで『スマート農業について』をテーマに講演され、人口減少に伴う農業の担い手の減少・高齢化が農業分野における課題であり、解決に向け、ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用するスマート農業の説明をいただいた。活用例としてドローンによるピンポイント農薬散布などの技術をご紹介いただき、会員にとって有意義な時間となった。



▲井上講師の講演に聴き入る参加者たち

DX化の推進を強調

LoMAの会 中込理事長青森の例紹介



▲中込社長の講演に聴き入る参加者たち

青年部『LoMAの会』は2024年5月24日（金）にパワーディナーを開き、講師として当組合理事長でもある、株式会社システムインナカゴミ代表取締役社長 中込裕氏をお招きした。

中込氏は『中小企業におけるDXの事例と目的』をテーマに講演され、青森県のとある農家ではQRコードとスマートフォンを用いた作業管理システムを使用し、データに基づいた管理をしていることを説明。また、DX化は担当者に任せるのではなく、会社全体や組織として推進し、他人事ではなく自分事としてとらえることが大切だとし講演を終えた。

また、同日に山梨県中央市出身のプロレスラー 鷹木信悟氏をお招きし、会員にプロレスの魅力をお話しいただいた。鷹木氏は新日本プロレスに所属、IWGP世界ヘビー級王座などのタイトルをもっている。



◀プロレスラー 鷹木信悟氏と記念撮影する参加者たち

ケーキ食べ放題楽しむ

社員交流会 クイズで会場盛り上がる

第10回社員交流会が2024年2月16日（金）に開かれ23社114人が参加した。4年ぶりの開催で、『シャトレゼホテルのスイーツ食べ放題～わくわく交流会～』と題し、特別感を感じていただくために山梨グランドホテルの会場をお借りしての、盛会となった。

冒頭、中込裕理事長のご挨拶があり、小林愛直実行委員長の開催の合図で交流会は始まった。

参加者は山梨グランドホテルの食事、スイーツを各々楽しみながら和やかに歓談した。また、実行委員から「交流会で提供されるケーキの重さ」に関する近似値クイズが出題され、参加者たちは該当するケーキを食べながら何グラムになるかを話し合い、クイズを楽しむ場面もみられた。

交流会の中盤、実行委員主導によるイベントが行われ、『うまい棒パイルアップゲーム』や『チキチキ！フレフレゲーム』を行い、自身のチームはもちろん、同僚を応援するなど、大きな盛り上がりを見せた。

最後は個人戦として『じゃんけんゲーム』を行い、最後まで勝ち残った参加者に榎丸栄様より協賛いただいたディズニーランドペアチケット（JTBギフトカード）が贈られ、交流会は盛況に終えた。

後日、近似値クイズの答えを組合HPにて発表し、見事『85g』と的中した(株)オオキのK.I.氏に佐渡屋のA5ランク牛肉が贈られた。



▲23社、114人が参加した交流会

訴訟に発展の事例も紹介

ハラスメント セミナー コンサルの介入が有効

ハラスメントセミナーが2024年2月8日（木）に開かれ、組合員10人が参加した。セミナー前半は社会保険労務士の高岡綜合事務所・特定社会保険労務士 笹本裕也氏が講師、後半は今澤アソシエイツの代表取締役 今澤俊和氏が講師を務めた。

前半は、「社労士によるハラスメント対策」がテーマ。実際の訴訟に発展した事例を元に、ハラスメントに該当する行為、グレーとなる行動、その対策について説明された。後半は、「なんでもハラスメント時代にハラスメン

ト対策がうまくいかない理由」というテーマで、対策としてキャリアコンサルタントの活用必要性について解説された。

経営者がハラスメント対策を行うに当たり、従業員の見えない課題が約50%存在するため、具体的な対応策を策定することが困難であるという。しかし、キャリアコンサルタントが介入することで、見えない課題も面談の中で明確になり、会社と従業員の間で緩衝材として機能することができることを強調しセミナーを終えた。



▲2人の講師が講演したセミナー

電話対応など実践で学ぶ

新入社員研修 知識を知恵に転換が大事

新入社員研修が2024年4月11日(木)、12日(金)の両日、流通会館会議室で開かれ9社から20人が参加した。

講師は、(株)学宣の鬼塚啓介先生。受講者たちは、社会人としての心構えやビジネスマナーをはじめ、電話対応や敬語の種類、コミュニケーションの重要性等を学んだ。

電話対応などの実践的な研修では慣れないビジネス話法に苦戦しながらも、鬼塚先生や、チームのメンバーにアドバイスをもらい「実践してみないと分からなかったことが多くあった」「グループ討論や実践の場が多く、理解しやすかった」などと話していた。

最後に鬼塚先生は「相手の存在を認める働きかけである『ストローク』ができるようになってほしい。知識と行動の二つで知恵になるということを忘れずに」と受講者にアドバイスし、研修を終えた。

研修を終えた受講者たちは、「研修で意識が変わり仕事に対する考え方も前向きになった」「社会人として責任感を持って業務に取り組んでいきたい」など新たな決意を胸にした。

この研修がこれからの社会人としての生活に役立ってほしい。



▲9社から20人が参加した新入社員研修

セミナー、研修の日程

各セミナー、研修など下記の日程で実施を予定しております。

詳細は都度お知らせする別途案内をご確認いただくか事務局までご連絡下さい。(TEL 055-273-4711)

- | | |
|---|---|
| ○営業力強化セミナー
2024年7月20日(土)・9月28日(土) | ○新入社員フォローアップ研修
2024年10月10日(木)・11日(金) |
| ○中堅社員研修
2024年10月8日(火)・10日(木)・
16日(水)・18日(金) | ○フォークリフト運転技能講習(後期)
2024年11月16日(土)・17日(日)・
23日(土)・24日(日) |

新入社員にぎやかに交流

Welcome
パーティー 20人参加して大にぎわい
























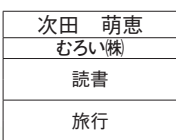
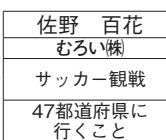
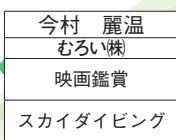
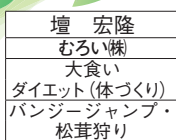
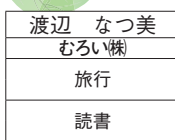
新入社員ウェルカムパーティーが2024年4月12日(金)に、山梨グランドホテル シュヴァルブランで開かれた。今年度から交流の幅を広げるべく2023年度入社5人の5人を加えた、7社20人が参加した。

参加者たちは初めこそ緊張した面持ちだったが、互いの会社や新入社員研修についての話を交わすうちに緊張もほぐれ、にぎやかな雰囲気の中で交流、企業の垣根を越えた有意義な新入社員ウェルカムパーティーとなった。



▲大にぎわいの新入社員パーティー

新入社員紹介

氏名 会社名 趣味 特技 チャレンジしてみたいこと								
	五味 勇哉 株アドヴォネクト	前橋 颯 株甲府情報システム	八巻 蘭斗 株甲府情報システム	菊島 悠太郎 株渡辺商店	清水 美里 株渡辺商店	田中 慎太郎 株システムインナカゴミ		
	ギター ドライブ	旅行	映画鑑賞	SNSで見つけた料理を作ること	カフェ巡り 音楽鑑賞	ゲーム ドライブ		
	多くの人と名刺交換したい	日本一周	資格取得	あいさつの明るさは誰にも負けない営業マンを目指す	激辛料理を完食すること	基本情報技術者試験合格		
	氏名 会社名 趣味 特技 チャレンジしてみたいこと							
		藤本 麻里 株システムインナカゴミ	浅野 蓮 株羽中田自動車工業	石水 総太 株羽中田自動車工業	末木 涼介 株羽中田自動車工業	竹ノ下 侑希 株羽中田自動車工業	横内 洸太 甲信商事株甲府支店	
アイドルのライブに行くこと		音楽鑑賞	読書	ゲーム 音楽鑑賞	愛車でドライブ 温泉旅行	写真 ドライブ		
お客様にいい対応をする		温泉巡り	早く1台販売する	基本を忠実に仕事を頑張る	温泉旅行 Audi RS31に乗りたい	富士登山		
氏名 会社名 趣味 特技 チャレンジしてみたいこと								
		大久保 莉央 甲信食糧株	田中 希朋 甲信食糧株	石原 滯 甲信食糧株	堀内 煌羽 甲信食糧株	若木 澄大 甲信食糧株	小林 李瑠 岡山県流通センター	
	映画鑑賞	洋画鑑賞	睡眠	食べ歩き	釣り	絵を描く 写真		
	一人旅	一人ドライブ	ご当地グルメ旅	オーロラを見る	ギター演奏	弓道		
	氏名 会社名 趣味 特技 チャレンジしてみたいこと							
		樋口 剛 国土防災技術株	有野 一吹 リコージャパン株	小林 翼 リコージャパン株	羽田 心 リコージャパン株			
テニス		ドライブ	バスケットボール	歌をうたうこと				
筋トレ、体づくり		資格取得	資格取得	ITパスポート取得				
氏名 会社名 趣味 特技 チャレンジしてみたいこと								
		次田 萌恵 むろい株	佐野 百花 むろい株	今村 麗温 むろい株	壇 宏隆 むろい株			渡辺 なつ美 むろい株
	読書	サッカー観戦	映画鑑賞	大食い ダイエット(体づくり)	旅行			
	旅行	47都道府県に行くこと	スカイダイビング	パンジージャンプ・松茸狩り	読書			

※順不同

乳がん検診115人が受診

乳がん検診が2024年2月21日（水）、22日（木）の両日流通会館で行われた。健診機関は甲府市医師会に依頼し、マンモグラフィ検査（1方向／2方向）とエコー検査を合わせて28社115人が受診した。

乳がんは無症状の段階から検査を行い、早期に発見することができるのであれば、9割以上のケースで治療が期待できるとされている。検査機関にて定期的な検査と自己チェックを行い、自身の健康状態を把握することが重要である。

※例年2月に実施していた乳がん検診は2024年度から8月の集団健康診断にて実施いたしますのでご注意ください。

流通センター 健康診断・インフルエンザ 予防接種等今後の予定

下記日程で実施を予定しております。詳細は別途案内をご確認いただくか事務局までご連絡ください。
(TEL 055-273-4711)

○集団健康診断

2024年8月1日（木）・2日（金）・5日（月）・6日（火）・7日（水）

○インフルエンザ予防接種

2024年10月29日（火）・30日（水）・31日（木）

14人が救命の基礎を研修

基礎救命講習会が2024年4月23日（火）に流通会館で開かれ、14人が参加した。

受講者たちは、甲府地区広域行政事務組合の消防救急指導員・普及員から心肺蘇生法とAEDの使用方法等について学び、AEDを使用した救命処置の実技訓練を受けた。

心肺蘇生法の具体的手順については、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた基本的な考え方に基づいて訓練が実施された。AEDについては、消防救急指導員の指導のもとデモ機と人体モデルを使用し、音声案内に従い①電源の入れ方 ②電極パッドの貼り付け位置 ③電気ショックを実施する といった訓練を行い、正しい手順や知識を身につけた。

今回学んだ救命処置の技術をいざというときに役立ててほしい。



▲救命の基礎について実技訓練を受ける受講者たち

86インチモニター2台購入 組合員の積極的利用PR

流通会館は、備品として86インチモニターを4月に2台購入。1日につき一台5,000円（消費税別）で貸し出しを行っている。

PCの画面をモニターに大きく映すことができ、更に4K対応のHDMIケーブルを使用することで、より鮮明な映像を出力することが可能となっている。セミナーや会議などにぜひご活用いただきたい。

※ご利用の際は事前に事務局までご相談ください。



▲モニターを使用するセンター役員たち

つつじ満開に咲く 事務局 手入れに汗を流す

4月下旬から5月にかけて流通団地の道路沿いに植えてあるつつじが満開に咲きました。事務局で植栽の手入れを行い、花びらのピンク色がとても鮮やかで団地内を明るく華やかに彩りました。

つつじの花言葉は色によって異なり、ピンク色は「愛の喜び」白色は「初恋」紫色は「美しい人」というメッセージを持っています。



▲団地内に満開に咲いたつつじ

組合員変更事項

企業名	変更前	変更後
ウエダ(株)	代表取締役 上田 洋子	代表取締役 上田 大輔
(株)栗山商店	代表取締役 栗山 直樹	代表取締役 栗山 直哉
(株)エスケーター	代表取締役 数野 雄次	代表取締役 藤原 庸勝
高瀬物産(株)甲府支店	支店長 平山 孝治	支店長 中込 潤

組合員の加入・脱退

企業名	加入・脱退の別	住所
米山産業(株)	脱退	中央市山之神通団地3-3-1

準組合員変更事項

準組合員名	変更前	変更後
山梨第一貨物(株)	社名 都留貨物自動車(株)	社名 山梨第一貨物(株)



藍綬褒章祝い

2024年春の褒章として、当組合副理事長 甲信食糧(株) 代表取締役社長 中込武文氏が学校給食の安定供給に尽力されたことで「藍綬褒章」を受章された。誠におめでとうございます。

▲藍綬褒章を受章した
中込武文副理事長 (右)

「事務局日誌」

～2～5月の主な会議等～

◆2月

- 6日 正副理事長会議
- 6日 脳ドック、肺CT検査開始 (3.12迄)
- 8日 社員研修会 (ハラスメント対策)
- 13日 リサイクル、一斉清掃日
- 16日 社員交流会
- 21～22日 乳がん検診
- 29日 定例懇談会

◆3月

- 5日 正副理事長会議
- 7～8日 役員視察研修 (会津若松卸商業団地 (協))
- 12日 リサイクル
- 13日 北ブロック懇談会
- 13日 南ブロック懇談会
- 14日 理事会
- 18日 東ブロック懇談会
- 19日 青年部LoMAの会定例会

◆4月

- 2日 正副理事長会議
- 11～12日 新入社員研修会
- 12日 リサイクル・一斉清掃
- 12日 ウェルカムパーティー
- 17日 研修・厚生委員会
- 19日 青年部LoMAの会総会・懇親会
- 23日 基礎救命講習会
- 24日 北ブロック懇談会

◆5月

- 13日 リサイクル・一斉清掃日
- 13日 正副理事長会議
- 14日 組合会計監査
- 16日 理事会
- 23日 北ブロック懇談会
- 24日 青年部LoMAの会
- 30日 通常総会

かいがね

今年で75歳になる。遂に後期高齢者と言うわけだ。先頃、運転免許の更新に伴う認知機能検査の受検通知が来たので早速受けることにした。いよいよその歳になったかと改めて実感したが、検査は問題なく通過した。受検会場には後期高齢者が15,6人集まっていた、中には既に何度目かの経験者もいたのだが、私のように初めての受検者はどんな問題が出されるのかよくは分からず、まさか認知症と認定されることはなかろうとは思っていたが多少の緊張感があった。

ところで、70歳の頃からエンディングノートを書いておこうと思っているのだが、なかなか手がつかない。特段の理由はなく、つつい先送りしている状態なのだ。延命治療はしないこと、葬儀は家族葬することなどははっきりさせておかないと残された家族が迷うことがあってはいけなからだが、一方、遺産と言えほどのものは残せそうにないので、相続争いは起きないだろうからそっちの心配はしていない。

それに気掛かりなのは、学生時代からの専門書や文学書などの蔵書類、趣味の風景写真やその撮影済フィルムの整理処分などなど。先日、高校教師だった知人に蔵書を図書館などに寄付できないか相談すると、今は受け付けてもらえないだろうという話だった。どの図書館も寄付されても置く場所がないのが実情らしい。かと言ってブックオフに持って行く気にはならない。趣味の写真以外にも家族写真のアルバムも数十冊になるのだが、これも何とかしなければいけない。知り合いのご老人は殆どをシュレッダーにかけてしまったそうだ。ためらいはあるがそれも選択肢の一つかもしれない。自分の部屋を見回すとそれら以外にも整理しなければいけないものがある。なるべくなら元気なうちに自分で整理しなければいけないのだが。

また、これも以前から思っていることだが、自分の「遺影」の準備である。三脚を立てて自分で撮るか、誰か写真仲間にも撮ってもらおうかと考えていたのだが、どうせなら写真館に行って、撮る角度とか照明の具合など注文を付けて出来ることなら少しでもカッコ良く撮ってもらいたい。本人が死んでからようやく探し出したような写真を使われるのは本意ではない。と言う訳でこれは近いうちに実行に移したいと考えている。今撮っておいても遺影に使うって問題なからうし、妻にも勧めているが乗り気の様子ではある。ただ、撮るのはもう少し先にしたいようだ。

前にもこの欄に書いたのだが、実を言えば、日本でも早く安楽死を認めてくれないかと望んでいる。その選択が可能であればこれからの生活をある程度計画的に進めることができるかもしれないし、家族に迷惑をかけずに済むだろう。自分が正気なうちに自分の判断で生涯を閉じるのは「生き方」として理想的にも思えるのだが。はて・・・。

(M)